



立花流は、子どもから高齢の方まで、幅広い年齢層で構成されています。写真①～③は、春季文化祭に向け、師範の指導のもと練習に励む立花流の皆さんの様子です。

個人で入会を希望する場合は、春季文化祭の会場で、出演団体や出展者に声をかけていただければと思います。新規入会の方、大歓迎ですよ。

今後の目標は
— 文化活動は、日々の暮らしをより豊かに、楽しいものにしていくひとつの手段だということ、世代を問わず広くPRしていきたいと思っています。

インターネット放送局で配信中

文団連の活動紹介をインターネット放送局「海老名市の魅力紹介」内で配信しています。ぜひご覧ください。

海老名市インターネット放送局 検索

春季文化祭を控え、練習に精を出す演能部・日本舞踊立花流の稽古場に伺い、師範の佐藤よし江さん（左写真）に聞きました。

**文化祭に向け
た意気込みを
お願ひします**
— 春季文化祭は、普段は個々の活動をしている流派などが一堂に会する場で、とても華やかなものです。文化会館の大ホールという、文字通り大きな舞台で踊りを披露することがあるので、練習にも力が入ります。出演時間以外は、展示などの各部屋を回って楽しんでいきます。ぜひ、皆さんに観に来ていただきたいですね。



平成26年度 春季文化祭

- 【展示】**
▼日時 5月24日(土)・25日(日) 10時～16時
▼会場 文化会館
▼内容 菊花・盆栽・華道・短歌・俳句・茶道(有料)
※茶道は25日(日)のみ。隣接する総合福祉会館にも席を設けます。なお、菊花・盆栽は廉価で販売予定です。
- 【演能】**
▼日時 5月25日(日)10時開演
▼会場 文化会館大ホール
▼内容 日本舞踊・新日本舞踊・詩吟・三曲・剣詩舞道・歌謡三味線・民謡三味線



▲市文化団体連合会役員の皆さん(平成25年度)

「海老名市文化団体連合会」を紹介します

☎文化スポーツ課 (235)4797

市内には、文化活動を行っている団体が数多くあります。これらの団体を取りまとめ、多くの方に文化活動に参加してもらうことや、市内の文化を継承していくことを目的として運営されているのが、海老名市文化団体連合会です。今回は、5月24日(土)・25日(日)に同会主催で行われる春季文化祭と、同会の取り組みを紹介します。

市文化団体連合会(以下、文団連)の新井会長(下写真)ほか、役員の方にお話を聞きました。

文団連は、どのような団体ですか

— 昭和31年に発足した団体で、大きく「展示部」と「演能部」に分かれています。現在、展示部には短歌・俳句・華道・茶道・盆栽・菊花の6部門、演能部には詩吟・三曲・尺八・剣詩舞道・歌謡三味線・民謡三味線・日本舞踊・新日本舞踊の8部門があります。それぞれの部門は、市内で活動するサークル、流派などが集まって構成されていて、現在、全体でおよそ600人ほどの方が活動しています。

文団連の活動には、どのようなものがありますか

— 毎年5月に、文化会館で春季文化祭を開催しています。各部とも、この文化祭を日頃の活動や練習の成果を披露する集大成の場と位置付けていて、これを目標に作品を作ったり、練習をしたりして



います。ほかには、研修バス旅行の実施や講演会の開催、文化誌の発行などを行っています。また、市主催の史跡相模国分寺跡茶会や市民文化祭、えびな盆踊りフェスティバルなどにも参加しています。

文団連の魅力は何ですか

— 多岐にわたるサークルが集合して、それぞれ切磋琢磨していることだと思います。

文団連に入りたい場合は、どのようにすればよいですか

— サークルや会として入会を希望する場合は、市の文化スポーツ課へ連絡してください。後日、会長から連絡をします。